

個人投資家向け説明会 主な質疑応答 (2015年3月開催)

Q

NECの課題と、課題への対処について教えてください。

A

当社はこれまでに赤字事業からの撤退等により、事業を絞り込んできました。現在注力している事業を今後成長させて、実績を出していくことが課題だと考えています。現在、注力領域ではお客さまと実証実験をするなど、いくつか取り組みを進めていますが、ここでしっかりと結果を示せるようにしたいと思います。また、国内市場での成長が厳しい中で、海外展開に注力していく必要があります。パブリック事業は、国内事業での比率が圧倒的に高いので、今後は海外での成長も不可欠です。加えて、テレコムキャリア事業でも海外での事業展開が重要だと考えており、SDNの早期導入を目指し取り組みを加速しております。

Q

2015中期経営計画の当期純利益の目標が600億円と、2014年度予想比で大幅に改善する見通しのようですが、強気の理由は何でしょうか。

A

まず、事業でしっかり成果を出し、営業利益を改善することを念頭に置いています。加えて、営業外費用で年金費用の償却が100億円程度なくなること、さらに赤字子会社がなくなったことに伴って、大きな構造改革などの特別損失が少なくなることを想定しています。

Q

最近、国内でもROEが重視され始めていますが、目標とするレベルをどのように考えていますか。

A

目標とする経営指標として、ROEを最重要視しています。当社のROEは業績とともに年々改善傾向にあり、2012年度は4.5%、2013年度は4.8%でした。2014年度も前年度比で改善を狙っています。

Q

現在の株価についてどのように考えていますか。利益を出して株を買ってもらわなければ、株価はついてこないと思いますが、株価回復の見込みはあるのでしょうか。

A

まず、当社の今年度の当期純利益予想、350億円というレベルは、他社に比べて低いと認識しており、2015中期経営計画において、600億円レベルに上げていかなければならないと考えています。当社は、これまで赤字事業の撤退などに取り組んできて、ようやく成長に向けた方向転換をしたところです。株価については、今後実績を示すことで評価を高めていきたいと思っています。

Q

NECといえば、パソコン、携帯電話機、通信機器のイメージでした。個人向けPCはまだ作っていますが、将来的にはどうなりますか。

A

個人向けPCについては、レノボ社と連携しています。しかし持分の関係で、当社の売上高、営業利益の実績には入っていません。今後もレノボ社と連携して事業展開していく予定です。